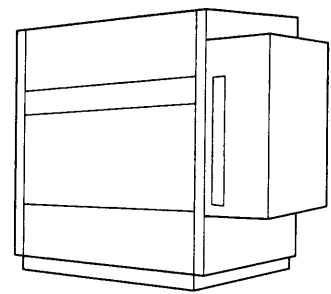


セゾンマルチシリーズ 据付説明書

FDWUP 112HKXD1 ~ 280HKXD1

PSB012D606

▶本説明書は、室内ユニットの据え付け方法を記載してあります。
リモコン及び電気工事の方法は、電気配線工事説明書(室内ユニットに付属)をご覧ください。
室外ユニットの据え付け方法は、室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。



【お願い事項】

- 取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた(特に、エアフィルタの清掃・運転操作のしかた・温度調節の方法)をご説明ください。
- 長時間使用しない時は、電源スイッチを切るようにお客様にご説明ください。
電源スイッチを入れたままにしておきますと、クランクケースに通電されエアコンを使用しなくても電力を消費することになります。

適用機種	床置形システムパッケージ	80, 112, 140, 224, 280H
------	--------------	-------------------------

▶工事完了後、これだけは再チェック願います。

チェック項目	不良だと	チェック欄
室内外ユニットの取り付けはしっかりしていますか。	振動・騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。(冷媒・ドレン・給水配管)	水漏れ	
ドレンはスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体に表示の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
電線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

据付まえに

○据え付けはこの据付説明書に従って正しく行ってください。
○工事計画にあっておりますか。

機種・電源仕様

確認してください

配管・配線・小物部品

付
属
品

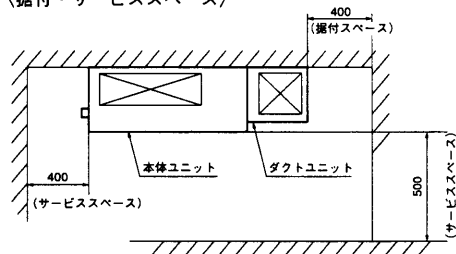
ダクトフランジ関係			
ボルト(M6×25)		4個	ダクトユニット取付用
		5個	
			80
			112~280
据付関係 (224, 280のみ)			
転倒防止金具		2個	
ボルト(M6×12)		4個	転倒防止金具用

ダクト関係				
ボルト(M5×16)		8個	吹出ダクトフランジ用	80
ボルト(M5×16)		10個	吸込ダクトフランジ用	
ボルト(M6×16)		12個	吹出ダクトフランジ用	112, 140
ボルト(M6×16)		14個	吸込ダクトフランジ用	
ボルト(M6×16)		24個	吹出ダクトフランジ用	224, 280
ボルト(M6×16)		14個	吸込ダクトフランジ用	

FDWUP

据付場所の選定

〈据付・サービススペース〉



【お願い】

- 吸込口及び吹出口の近くに風の障害となるような物がない所。
- エアフィルタのサービス、パネルの脱着作業に支障のない所。
- 室外ユニットへの配管、配線のしやすい所。
- 据付部の床が強固である所。
- ユニットが水平に設置できる所。
- ドレン排水（上部・下部共）が完全（ドレン勾配がとれる）にできる所。
- 冷媒ガスが漏れた時、周囲の空気が一定の限界濃度を超える恐れのある場合は隣室との間の開口部やガス漏れ検知警報と連動する機械換気装置などのとりつけが必要となりますのでご注意ください。
- 油の飛沫や蒸気の多いところ（例：調理場、機械工場）はさけてください。熱交換機の性能低下・腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
- 腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある場所は熱交の腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
- 病院などの電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近くはさけてください。ノイズの発生によるコントローラの誤動作の原因となります。（エアコン本体とリモコンはテレビやラジオなどから1m以上離してください。）

ユニットの据付

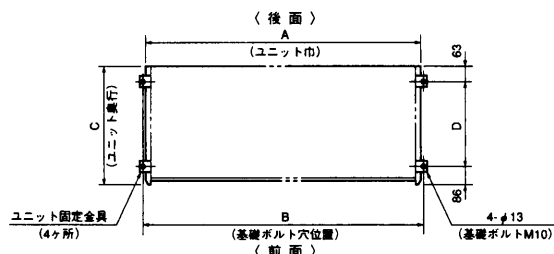
搬入

- 搬入時はできるだけ据え付け場所の近くまで梱包のまま搬入してください。
- 解梱して搬入する場合、ユニットを傷つけないよう搬入してください。

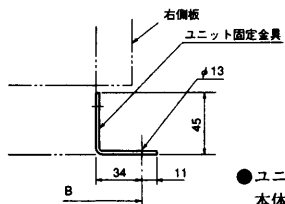
据付

1. 基礎ボルト固定方法

下図の寸法により基礎ボルトで本体ユニットを固定してください。



▶ 基礎ボルト位置（ユニット上面より見た位置）

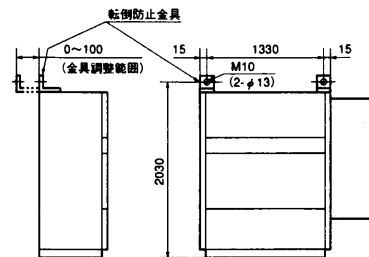


	A	B	C	D
80	730	750	356	304
112, 140	875	897	460	378
224, 280	1360	1373	560	411

- ユニット本体の振動が床、壁等に伝播しないよう本体を防振ゴムにより防振してください。

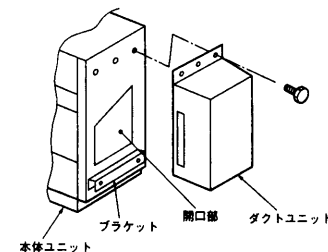
2. 転倒防止金具固定方法（224, 280）

- 下図の方法により転倒防止金具でユニットを必ず固定してください。
- 注）固定する壁面が強固であることを確認してください。



3. 本体ユニットとダクトユニットの接続方法

本体ユニットの右側板のブラケット上にダクトユニットを載せ、開口部にフランジ部を挿入し、接続ボルトにて接続してください。



ダクト工事

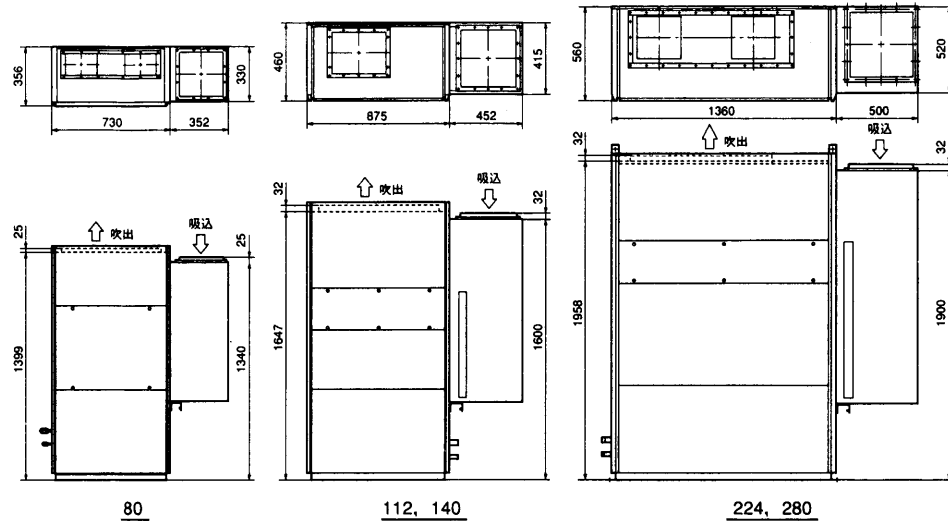
- ユニット本体の振動が天井に伝わらないようにダクトにはキャンパス継手を取付けてください。
- 室内の吸込口、吹出口からの騒音を下げerる方法として、吸込ダクト、吹出ダクトに消音チャンバ、消音エルボを取付けてください。
- 吹出口は室内全般に空気が流れるように位置、形状を選んでください。
- ダクトの保温施工は必ず実施し、ダクトへの結露を防止してください。保温材の厚さは25mm (HASS010) です。

電装品作業要領

1. フロントパネル (下) を取外すことにより下記作業が行えます。
 - 1) 左、右側面からの電源配線、リモコン線、信号線の取入れ
2. 電装品箱カバーを取外すことにより下記作業が行えます。
 - 1) 端子台への電源配線、リモコン線、信号線の接続
 - 2) ファンコントローラの操作

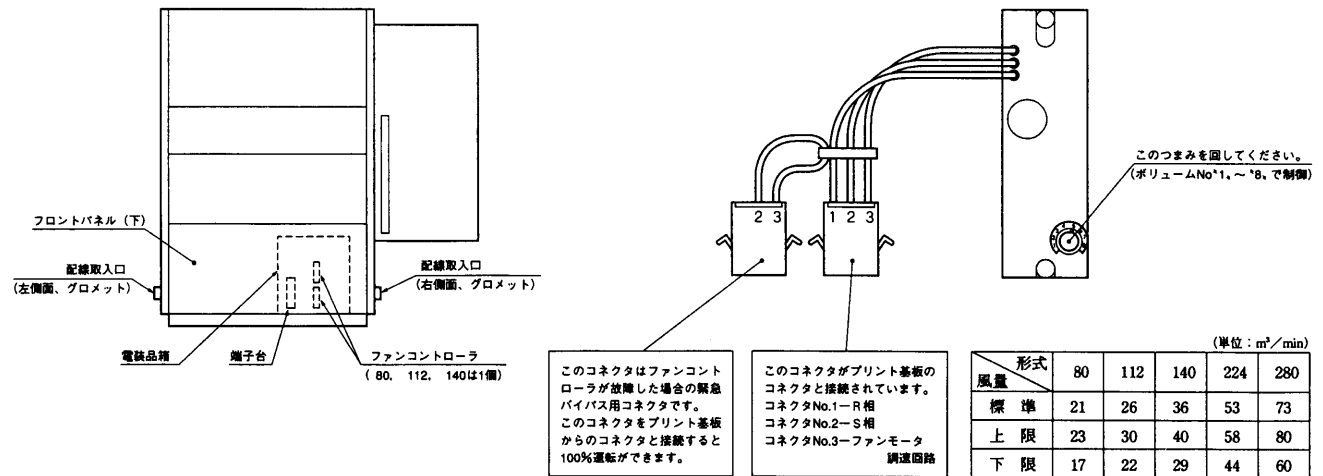
ファンコントローラ操作要領

- 本ユニットは電装品箱に内蔵のファンコントローラのボリュームにより、連続的に風量を調整することができます。ダクト側でのダンパ等による風量調整 (機外静圧調整) は必要ありません。
- 使用ポイントが運転可能風量範囲内となるように設定してください。(空気条件、風量限界を参考にしてください。)
- 右図にファンコントローラの電装品箱内の位置と操作のしかたを示します。
- 80・112・140にはファンコントローラが1個、224・280には2個取付いています。2個取付の場合、ボリュームNo.を同じになるように調節してください。



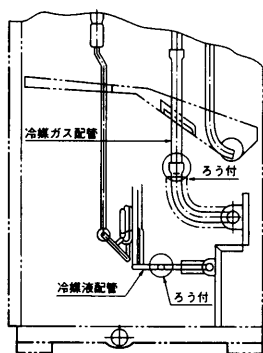
ファンコントローラの操作のしかた

注) ファンコントローラを操作する際は、充電部に触れる恐れがありますので注意して操作してください。

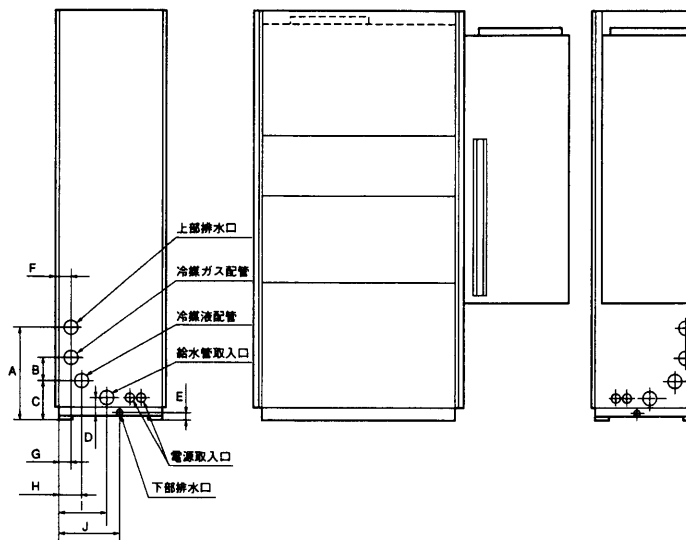


冷媒配管

- 本ユニットはマルチ専用室内機です。室外機、及び分岐管との接続方法は室外機に付属の据付説明書をご覧ください。
- 配管は下記材質のものをご使用ください。
〈材質〉リン脱酸銅継目無管1種 (C1220T、JISH3300)
- ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
●ガス側配管は、暖房時最高温度が120℃になりますので、それに耐える断熱材をご使用ください。
- 冷媒は、室外ユニットに充填されています。(室内及び接続配管分の追加量については室外の説明書をご覧ください。)
- 配管の曲げはできるだけ大きな半径で行ってください。曲げなおしを何回も行わないでください。
- 本エアコンはJIS露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、高湿度雰囲気(露点温度28℃以上)で運転すると、水滴が落下する恐れがあります。このような場合エアコン本体の全て及び配管、ドレン配管にさらに10~20mmの断熱材を取付けてください。
- 配管はねじったり、つぶしたりしないでください。
- 配管内はゴミ・切粉・水分が混入しないよう施工してください。
- 本ユニットの冷媒配管接続は右側で設定しています。左側にする場合は、まずフロントパネル(下)を取外します。次に右図ろう付部を外し、配管を適正長さにカットします。そして再度ろう付して使用ください。また配管の断熱材は現用機のものをご適宜使用ください。



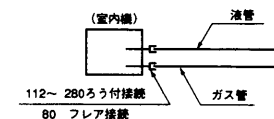
配管位置



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
80	450	80	230	90	28	49	49	49	49	219
112, 140	375	90	160	90	28	60	60	100	207	260
224, 280	380	90	160	90	22	80	75	115	330	268

配管

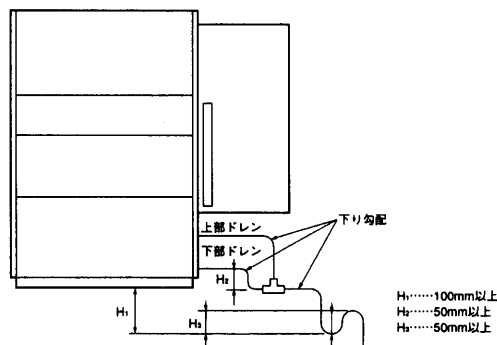
冷媒配管は下図のように接続してください。



配管外径と肉厚 (単位: mm)

形式	80	112, 140	224	280
液管	φ9.52×t0.8 (フレア接続)	φ9.52×t0.8	φ12.7×t1.0	φ12.7×t1.0
ガス管	φ15.88×t1.0 (フレア接続)	φ19.05×t1.0	φ25.4×t1.2	φ28.58×t1.4

ドレン配管



- ドレン配管は上部、下部の2箇所あります。上下共施工してください。
- ドレン配管は左右いずれも配管が可能です。
- 本ユニットのドレン配管接続は右側で設定しています。左側にする場合は、まず右側の上部、下部排水口のプラグを外します。次に左サイドパネルの上部、下部排水口のキャップを外します。そして左側の上部、下部排水口にプラグを取付け、右サイドパネルの上部、下部排水口にキャップを取付けてください。
- ドレン配管は必ず勾配 (1/50~1/100) にしてください。
- 下部ドレンパンに上部ドレン水が流入することのないようにしてください。
- トラップは、必ずユニット毎に設けてください。
本ユニットは、特に高性能ダクト仕様から、エアフィルタの目詰りによる圧力変動等を考慮しトラップを設けてください。(左図参照)
- 工事終了後排水テストをしてください。
- 配管工事終了後、断熱工事をしてください。

電気工事及び試運転

ユニットに同梱の電気配線工事説明書をご覧ください。

セゾンマルチシリーズ 電気配線工事説明書

FDWUP 112HKXD1 ~ 280HKXD1

PSB012D821

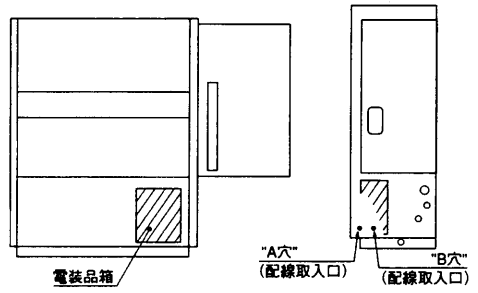
電気配線工事説明書

電気配線工事は電力会社の認定工事店で行ってください。

安全上の注意事項については、ユニット付属の掘付説明書に記載してありますので、必ずご参照いただきますようお願いいたします。

① 電気配線接続

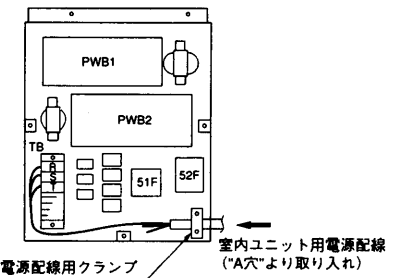
(1) 電装品箱位置



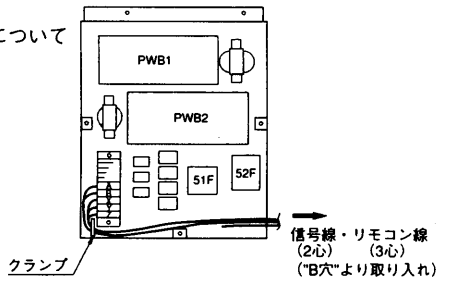
(2) 配線接続

端子台No. (R)S①	室内機電源線
端子台No. (A)②	室内・外信号線
端子台No. (X)Y③	リモコン線
端子台No. ④⑤	湿度コントローラ(RH)線

- ①ユニット電源接続について
- 端子台 (TB)
 - 端子台 (R)S①に接続
 - 適合圧着端子2-3.5
 - 室内機電源：3相 200V



- ②信号線、リモコン線接続について
- 端子台 (TB) に接続
 - 信号線 (A)②
 - リモコン線 (X)Y③
 - 適合圧着端子2-3.5



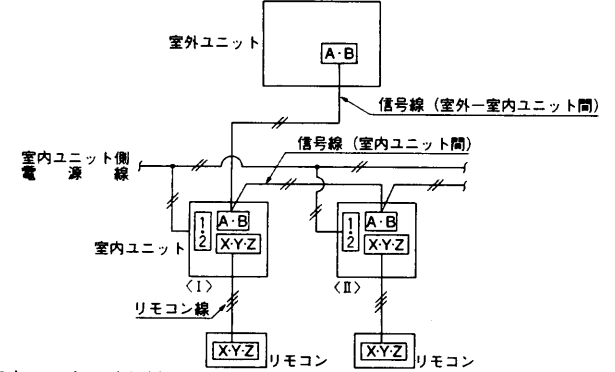
●機種 112, 140にはプリント基板PWB2がありません。

電源配線

- 電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、
 - 1) 電線は銅線以外のもを使用しないでください。
 - 2) 電源は、室外ユニット・室内ユニットの夫々別電源
 - 3) 同一系統内の室内ユニット電源は、必ず全て同時ON・同時OFFになる様にしてください。
 - 4) 信号線と電源線の接続を間違えますとすべての基板が焼損してしまいますのでご注意ください。

配線系統図

〔室外・室内ユニット接続要領〕



- 記事1. 本配線仕様は、
- 1) 電源は、室外ユニット・室内ユニットの夫々別電源
 - 2) 電気ヒータ (別売品) 含まずにて記載してあります。
- 注) 別売の電気ヒータを組込む場合は、電源仕様、配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。

2. 電源仕様

室内ユニット用			
配線用しゃ断器 定格電流 (A)	室内ユニット 合計電流 (A)	10A未満	20
		10A以上15A未満	30
		15A以上22A未満	40
		22A以上27A未満	50
漏電しゃ断器 定格電流 (A)	室内ユニット 合計電流 (A)	10A未満	20,30mA・0.1sec以下
		10A以上15A未満	30,30mA・0.1sec以下
		15A以上22A未満	40,30mA・0.1sec以下
		22A以上27A未満	50,100mA・0.1sec以下

室内ユニット接続線は5.5mm²まで可能です。8mm²以上は専用プルボックスを使用し室内ユニットへ分岐してください。

3. 配線仕様

電源配線		室内ユニット間電源配線	信号線	
室内側		系統間	室外～室内(1)	室内(1)～(2)～
		mm ² ×本数	mm ² ×本数	
室内 ユニット 合計電流 (A)	10A未満	2×2本 (こう長23m)	0.75 2.0	0.75 2.0
	10A以上15A未満	3.5×2本 (こう長23m)		
	15A以上22A未満	5×2本 (こう長23m)		
	22A以上27A未満	8×2本 (こう長23m)		

注) 内線規定に従い、配線こう長より配線太さを見直してください。

冷暖フリーマルチ (224H, 280H, 560H) の場合

分流コントローラの配線

- 本ユニットを冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ (別売品) の据付説明書をご覧ください。

② アドレス設定

- (1) 自動アドレス設定
- (2) 手動アドレス設定
- (3) リモコンアドレス設定

上記3項目については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。なお、(3) リモコンアドレス設定については、設定可能な機種と不可能な機種がありますので室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

③ リモコン取付と配線及び機能

リモコン リモコンは別売です。

リモコンの据付

お願い 次の位置は避けてください。

- 1) 直射日光の当たる場所
- 2) 発熱器具の近く
- 3) 湿気の多い所・水の掛る所
- 4) 取付面に凸凹がある所

取付要領

露出取付

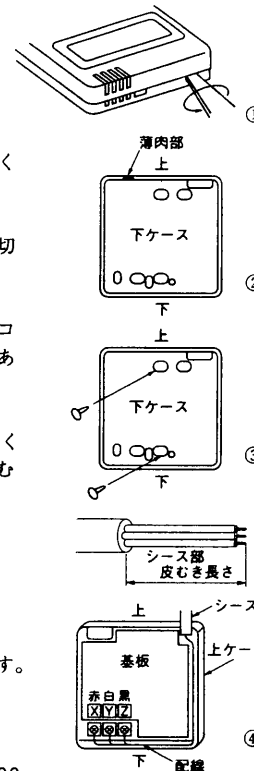
- ① リモコンケースをはずしてください。
 - リモコン上部の凹部にマイナスドライバ等を差し込んで軽くねじり、ケースをはずします。
- ② リモコンコードの取出し方向は、上方向のみ可能です。
 - リモコン下ケース側の上方薄肉部をニッパー・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。
- ③ リモコン下ケースを付属の木ねじ2本で壁に取り付けます。
- ④ リモコンコードを端子台に接続してください。室内機とリモコンの端子番号を合わせて接続してください。端子には極性があるので間違えると運転できません。

端子：①赤線、②白線、③黒線

リモコンコードは、0.3mm²(推奨)～最大0.5mm²以下としてください。また、リモコンケース内を通る部分はシース部を皮むきしてください。

各配線の皮むき長さは下記の通りです。

黒：195mm
白：205mm
赤：215mm
- ⑤ 上ケースを元通りに取り付けてください。
- ⑥ リモコンコードをコードクランプを使用して壁等に固定します。
- ⑦ 室内機の機能や用途に合わせて、機能設定をしてください。
機能の設定の項をご覧ください。



リモコンコードを延長する場合の注意 ▶ 最大総延長600m

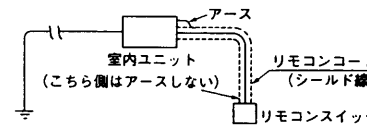
コードは必ずシールド線を使用してください。

- 全形式：0.3mm²×3心 (MVVS3C (京阪電線))

注(1) 延長距離が100mを超える場合は、下記のサイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。

- 100～200m以内……0.5mm²×3心
- 300m以内……0.75mm²×3心
- 400m以内……1.25mm²×3心
- 600m以内……2.0mm²×3心

- シールド線は必ず片側のみをアースしてください。

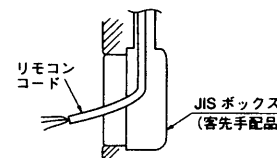


埋込取付

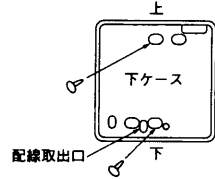
- ① JISボックスとリモコンコード (延長の場合はシールド線を必ず使用) をあらかじめ埋込んでおきます。

[使用可能JISボックス]

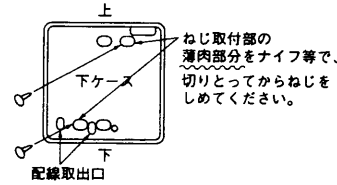
- JIS C 8336 1個用スイッチボックス
- 2個用スイッチボックス



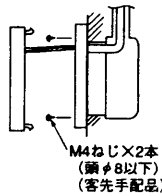
1 個用スイッチボックスの場合



2 個用スイッチボックスの場合

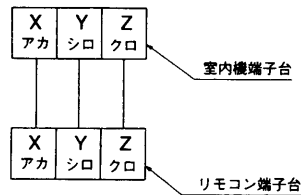


- ②リモコンの上ケースを外してください。
- ③下ケースをM4ねじ2本(頭φ8以下)を用意してJISボックスに取付けてください。
- ④リモコンコードをリモコンに接続します。
露出取付の項をご覧ください。
- ⑤上ケースを元通り下ケースにはめ込み取付完了です。
- ⑥室内機の機能や用途に合わせて、機能設定をしてください。
機能の設定の項をご覧ください。



リモコンと室内の配線

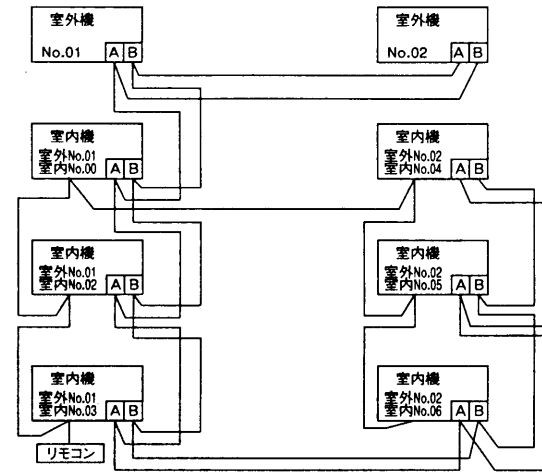
- リモコン配線は極性があります。必ず同一端子台No.同士接続してください。



リモコン複数台制御

配線要領

- グループ制御用に各室内機間に渡り配線をします。(3本)
 - 室内ユニットリモコン用端子台XYZに、接続してください。なお極性がありますので、同じ端子No.の所へ接続してください。
 - 配線は0.5mm²以上を使用してください。(配線の引廻しに耐えるもの)
 - 渡り線、リモートコントローラ配線の総延長は600m以内としてください。
- 室内・室外No.を手動アドレス設定にてセットしてください。
 - 室外機の室外No.設定も必要です。忘れずに設定してください。
- 下図の様に室外機が複数台の場合でもリモコン複数台制御可能です。
- 1つのリモートコントローラで複数台のユニット(最大16台)をグループ制御できます。
 - 室内基板上のロータリースイッチSW1、SW2により、リモコン通信アドレスを重複しないように設定してください。



電源投入後、リモコンの「エアコンNo」を押すと室内機アドレスが表示されますので、▲▼ボタンで接続されている室内機アドレスがリモコンに表示されることを、必ず確認してください。

機能の設定

ご注意

据え付け時、本機の機能設定が必要です。リモコンスイッチより下記設定を行ってください。設定方法は、リモコンに付属の据付説明書をご覧ください。

リモコン機能

機能番号A	機能内容B	設定内容C
0 5	自動運転設定	自動運転有効を、自動運転無効へ変更。
0 6	風量調整	風量調整有効を、風量調整禁止へ変更。
0 7	風向調整	風向調整有効を、風向調整禁止へ変更。

※自動運転有効のまま運転しますと、運転モード無効の表示がでる場合があります。
※風量調整または風向調整有効のまま運転しますと、リモコンから風量、風向の設定はできませんが、室内機には機能はないため作動しません。

本機の設定可能項目と工場出荷時の設定は下記の通りです。

(1) リモコン機能

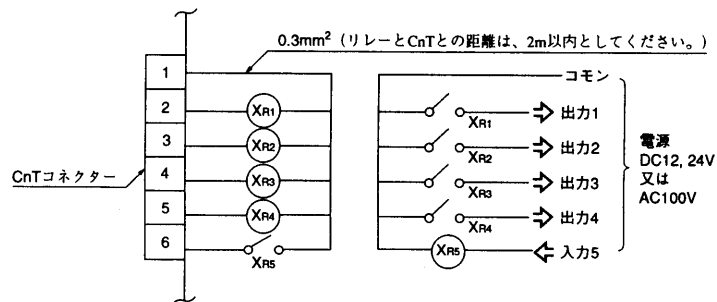
機能番号A	機能内容B	設定内容C	出荷時設定
02	自動運転設定	自動運転有効 自動運転無効	○
03	温度設定	温度設定有効 温度設定禁止	○
04	運転切換	運転切換有効 運転切換禁止	○
05	運転/停止	運転/停止有効 運転/停止禁止	○
06	風量調整	風量調整有効 風量調整禁止	○
07	風向調整	風向調整有効 風向調整禁止	○
08	タイマー	タイマー有効 タイマー禁止	○
09	リモコンセンサ設定	リモコンセンサ無効 リモコンセンサ有効	○
10	停電補償設定	停電補償無効 停電補償有効	○
12	温度範囲設定	表示変更有 表示変更無	○
13	室内ファン速調	ファン3速 ファン2速 ファン1速	○
14	冷房/ヒートポン	ヒートポン 冷房	○
15	外部入力設定	個別運転 全台同一運転	○
16	エラー表示設定	エラー表示有り エラー表示無し	○

④ 制御の切換

室内機の制御内容を、下記方法にて切換可能です。

	制御切換方法	制御切換内容																																																																						
室内機	室内基板 [SW-5] のNo.1をON	遠方発停入力 (CNT-No.6) 切換 出荷時…レベル入力 (反転できない) ↓ 切換…パルス入力 (反転)																																																																						
	室内基板 [SW-5] のNo.2をON	暖房時設定温度+3℃																																																																						
	室内基板 [SW-5] のNo.3をON	ドレンモータ運転																																																																						
	室内基板 [J-2] 切断	オートスイング4位置制御ナシ (フリー位置制御)																																																																						
	室内基板SW-6のNo.1~4のON・OFFを切換える。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>22H</th> <th>28H</th> <th>36H</th> <th>45H</th> <th>56H</th> <th>71H</th> <th>80H</th> <th>90H</th> <th>112H</th> <th>140H</th> <th>160H</th> <th>224H</th> <th>280H</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> 0はOFF、1はON	機種	22H	28H	36H	45H	56H	71H	80H	90H	112H	140H	160H	224H	280H	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1	2	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1	3	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
	機種	22H	28H	36H	45H	56H	71H	80H	90H	112H	140H	160H	224H	280H																																																										
	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1																																																										
	2	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1																																																										
	3	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0																																																										
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1																																																										
室内基板 [J-3] 切断	暖房サーモOFF時に室内ファンが停止する。																																																																							
室内基板 [J-4] 切断	フィルタサイン無効 (検知しない)																																																																							
室内基板 [J-5] 切断	運転許可禁止制御																																																																							
室内基板SW-9のNo.1,2のON・OFFを切り換える (4方向吹出し、4方向吹出しコンパクト)	オートリフトパネルの昇降長さの設定 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">50Hz地区</th> <th colspan="2">60Hz地区</th> </tr> <tr> <th>昇降長</th> <th>SW9-1</th> <th>SW9-2</th> <th>SW9-1</th> <th>SW9-2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.3m</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>1.6m</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>2m</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> </tr> </tbody> </table>		50Hz地区		60Hz地区		昇降長	SW9-1	SW9-2	SW9-1	SW9-2	1.3m	ON	OFF	OFF	OFF	1.6m	OFF	ON	ON	OFF	2m	ON	ON	OFF	ON																																														
	50Hz地区		60Hz地区																																																																					
昇降長	SW9-1	SW9-2	SW9-1	SW9-2																																																																				
1.3m	ON	OFF	OFF	OFF																																																																				
1.6m	OFF	ON	ON	OFF																																																																				
2m	ON	ON	OFF	ON																																																																				
室内基板 [J-1] 切断	ルーバ角度切換																																																																							

⑤ 室内基板CnTコネクタの機能



- XR1~4はDC12Vリレー (オムロン製LY2F相当品)
- XR5は、DC12, 24V又はAC100Vリレー (オムロン製MY2F相当品)
- CnTコネクタ (現地側) メーカー、形式

コネクタ	モレックス	5264-06
端子	モレックス	5263T

●機能

出力1	エアコン運転出力 (エアコンON時XR1=ON)	
出力2	暖房出力	
出力3	サーモON出力 (サーモON時XR3=ON)	
出力4	エアコン点検出力 (エアコン点検時XR4=ON)	
入力5	出荷時	XR5 OFF⇒ON エアコンON XR5 ON⇒OFF エアコンOFF
	現地切換 (SW5のNo.1をON)	XR5 OFF⇒ONのパルス信号によりON/OFF反転

- 冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ (別売品) の据付説明書をご覧ください。
- 遠方発停・監視キットを別売品で準備しておりますのでご利用ください。

⑥ 試運転

試運転については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

⑦ 故障診断方法

故障診断方法については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

⑧ 工事完了後のチェック項目

- 電源電圧は本体表示と同じですか。
- 室外機側でアース工事はされていますか。
- 電源線の太さは指定の配線と同じですか。
- 電源線、信号線、リモコン線の接続位置は正しいですか。